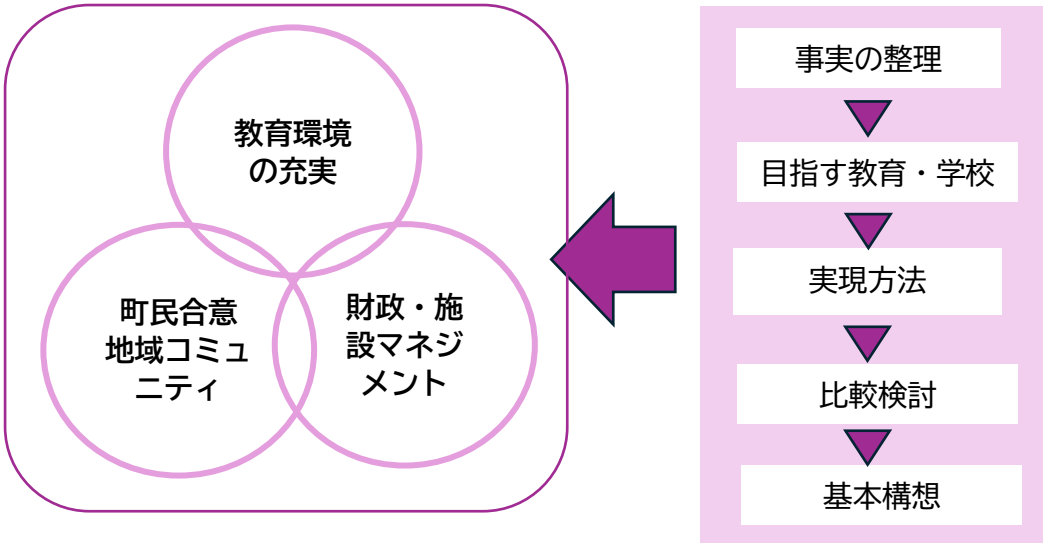
資料No. 2

新しい学校づくり基本構想策定事業の進め方（案）について

１　検討の目標

将来の児童・生徒数推計や施設状況等を踏まえ、湯河原町の子ども達にとって最も望ましい教育環境を、将来にわたりどのように確保していくか検討します。

２　検討の考え方



３　検討のフロー

(1)現状把握と将来推計、**社会情勢の変化**

・児童数の将来予測→将来の教室数など
・人口減少→地域コミュニティの衰退、共働き世帯や一人親世帯の増加など
・学校設備の老朽化と将来維持費の予測
・災害へのリスクの状況など

(2)湯河原で描く新たな学校づくりの基本像

基本像の目標を言語化

(3)将来像に向けた課題分析

テーマ １　教育環境の質的向上（小学校の統合、小中一貫・義務教育学校を視野）

・単級化等に伴う教育上の課題及び学校再編による改善可能性
・小中一貫学校（施設一体型または施設分離型）や義務教育学校（９年間一貫教育）への移行による「中１ギャップ」の緩和と小・中教員の相互指導
・独自カリキュラム・特色ある教育
・仮に統合した場合の想定される規模

テーマ２　通学の安全性・利便性への配慮

・統合化した場合でも安全で無理のない通学をどう確保するか
・新たな通学区域へのスクールバス導入の選択や保護者の負担軽減策
・スクールバス運行、路線バス利用補助、登下校時の見守り体制
　→ランニングコストの試算

テーマ３ 地域コミュニティ・防災拠点機能の維持

・学校は地域住民にとって精神的支柱の存在になっていることを前提に検討
・避難所機能確保の検討
・敷地条件(用途地域など)を踏まえ、まちづくりの視点から民間活用含めた多面的活用の可能性の検討
・現学校は耐震化・空調設備があり、活用可能性の検討

テーマ４　施設再編と財政負担

・統合した場合の校舎等整備の技術的可能性を各校ごとに検討
・新校舎整備（建て替え、大規模改修、増築）にかかるイニシャルコスト
・仮校舎の必要性と工事期間
・文部科学省の学校施設環境改善交付金などの活用

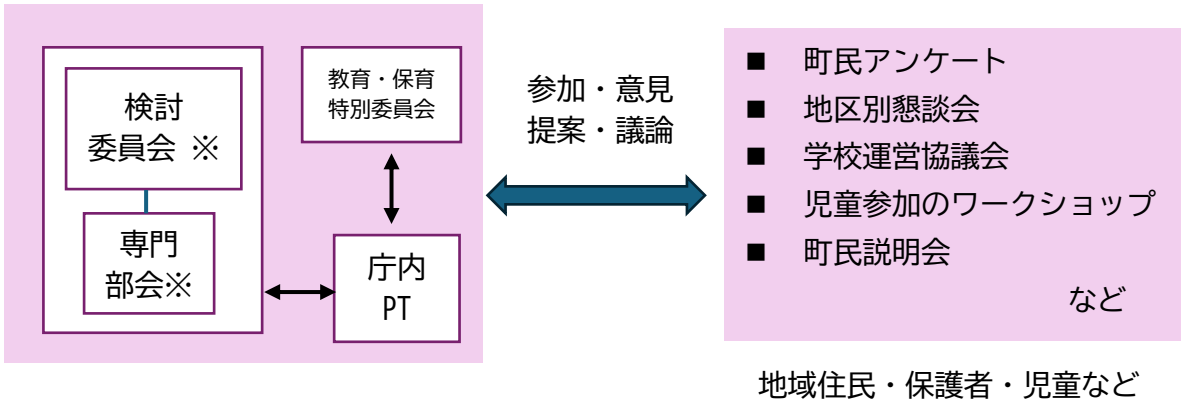
テーマ５　仮に統合してもなお残る小規模校としての課題への対応

・仮に統合した場合でも中長期的には小規模校化することを踏まえた対応の検討

(4)統合の選択肢の検討
　テーマ 1～4 の比較検討

(5)新たな学校づくりの基本構想案の取りまとめ

４　検討の体制



※ 検討委員会：学識経験者・学校運営協議会の推薦者・地域住民等
※ 専 門 部 会：検討委員会の下部組織として、学識経験者による専門的検討

参考資料

スケジュール案(現段階の目標)

